

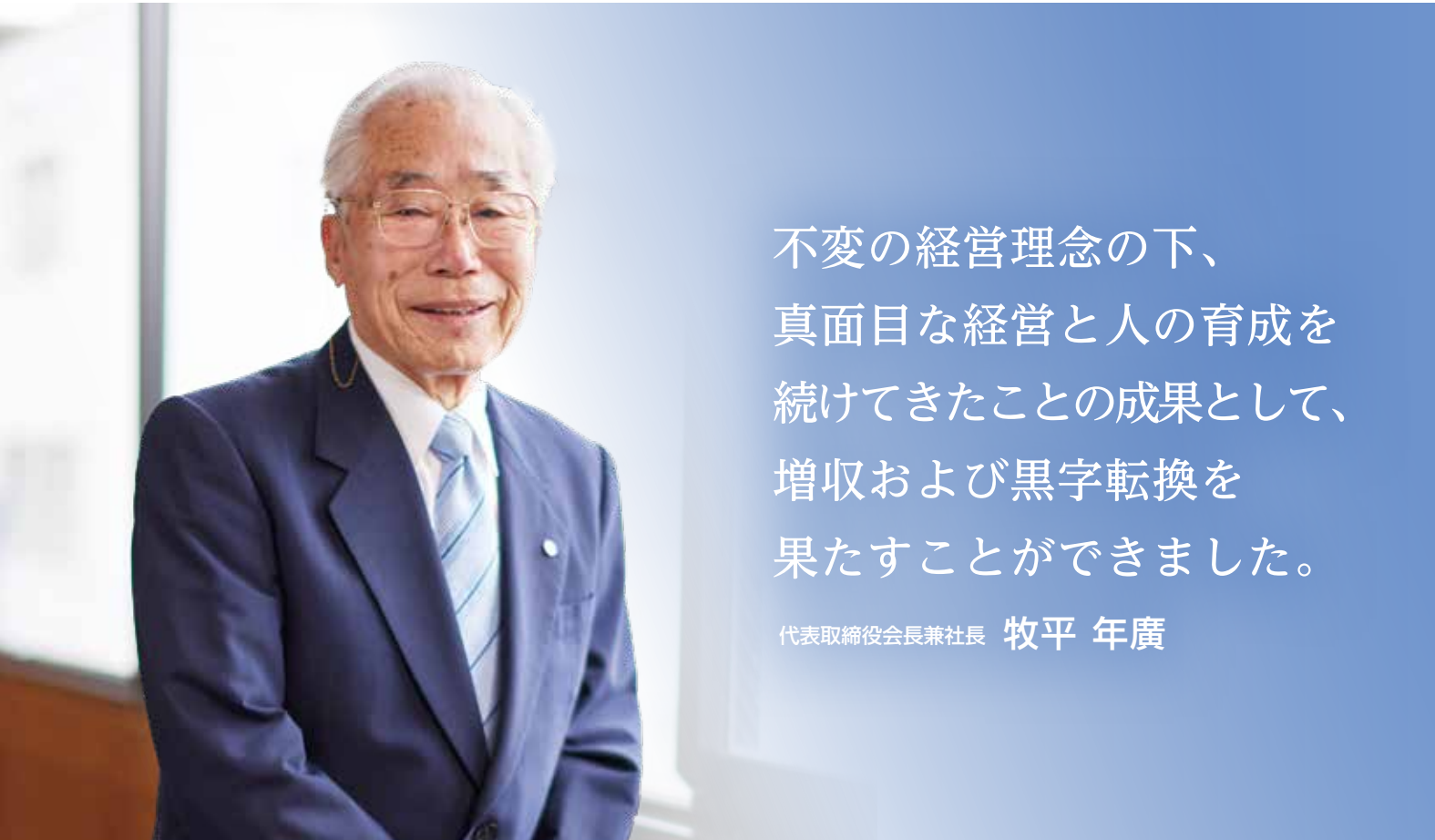


第45期

ビジネスレポート
2024

株主通信

2023年3月1日 ▶ 2024年2月29日



不変の経営理念の下、
真面目な経営と人の育成を
続けてきたことの成果として、
増収および黒字転換を
果たすことができました。

代表取締役会長兼社長 牧平 年廣

経営理念

融和

変革

貢献

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

お陰さまを持ちまして当社は、本年6月1日に創業60周年を迎える運びとなります。私にとっては、スタッフの方々は私の孫の世代です。孫のような社員さんや営業店の方々と一緒に働いていることになり
ます。私のこれまでの経験、行ってきたことがただなつかしい、というだけでなくそれが活かされ残って
ほしい、会社の財産になってくれればと毎日念いながら仕事に邁進してまいります。

〇〇〇

当社の現状に対する認識

〇〇〇

当期の主な業績内容として、売上高は50億7千2百万円(前期比8.2%増)となり、営業利益は8千3百万円(前期は1億7千7百万円の損失)、経常利益は1億6千3百万円(同9千3百万円の損失)、当期純利益は1億1千9百万円(同1億6千9百万円の損失)と、各利益段階で黒字転換を果たすことができました。

当社では、継続して取り組んできた様々な改革や効率化による効果も見られる中、コロナ禍の内向き(守り)の意識をリセットし、外向き(攻め)の意識にチェンジしていくために、再度、成長・拡大を基本方針として、新規出店(移転リニューアル3店舗を含む9店舗)や既存店リニューアル(22店舗)を含めた設備投資、また、シーズンに合わせたサービスの実施、付加価値商品やスニーカークリーニングの販売強化に努めてきました。また、福岡県での営業基盤の強化を目的に2023年12月16日付で事業の一部譲受けを行い、新たに48店舗を取得し、併せて、福岡市近郊のクリーニング工場を取得し営業を開始しました。

当期の増収および黒字転換は、これら諸施策の奏功によるものであることは言うまでもありませんが、何よりも一番は、先般の雇用調整助成金の受給問題を越えて社内が一致団結できたこと、また、当社がどのような状況でも真摯に営業を続けてきたこと、が寄与したのではないかと私は考えています。このコロナ禍の中で、やむなく閉店したり、倒産を余儀なくされるクリーニング店を数多く見てきました。しかしクリーニング業界内をよく見てみると、私なりのぞくばらんな表現になりますが、地中に深く根を張っている会社は、枯れることなく生き伸びてい

るのもまた事実なのです。当社もその中の1社として、新型コロナウイルス感染症の分類5類への移行後、業績をぐっと伸ばすことができました。真面目な経営と人の育成を続けてきてこそ、状況が変わればパッと芽が出る、それが今の当社の状況だと思っています。

〇〇〇

女性の活躍を意識した 職場環境と女性活躍の推進

〇〇〇

これは私が社長業に復帰以来、常々考えていた点です。尚、この3月から関東地区の地区部長と副部長は女性に任せる体制としました。私の持論ですが、本来クリーニングビジネスは女性に1番向いた職業ではないかと思っています。一方、残念ながら当社の中には男性中心的な組織風土がまだ残っており、この風土を打ち破るのも私の役割でないかと捉えています。

つまりは女性がどんどん意見を言って、女性が考える方向で会社及び事業を運営した方が良いと考える訳であり、それに付随して人材教育のテコ入れも適宜行っていく方針です。その策の1つが、私が以前の社長時代に通算600回、各職種別に開催していた「陽明塾」の再開です。今でもその当時のスタッフの方々が当社を支えてくれています。「陽明塾」で勉強した人たちがいきいきと残ってくれています。このような状況は大変嬉しい限りであり、もう一度皆と一緒に頑張って勉強し、連帯感や愛社精神、エンゲージメント、仕事に対する熱意を再興させるべく、経営企画室が中心となって「陽明塾」を再スタートすることとしました。当面は一部地区に限定した展開になるうかと思われますが、そこから徐々にネットワーク

新しい時代の感覚や考え方を経営にどう織り込んでいくかが 最重要テーマになると捉えています。

(「陽明塾」効果)を広げ、女性を中心とした人的資本の強化を図っていく所存です。

〇〇〇

当社の特徴・強み

〇〇〇

「理念なき経営は滅びる」との言葉がありますが、今日までの当社の成長の歴史は、前頁に掲げた経営理念と、ここにご紹介する「誓いの言葉」に支えられてきました。

- 私たちはきよくとうを愛し 仕事を通じて 社会に奉仕します
- 私たちは人の和を大切にし 自分の仕事に 誇りと責任をもちます
- 私たちはお客様に感謝し クイックを守り 品質の向上に努めます

他方、これからの時代の変化に合わせて、変わらなければならない点があることも真摯に認識しています。ある意味、それが1番の問題であるかもしれませ

ん。前社長の急逝により私は2022年9月に社長業へ復帰した訳ですが、このまま私が経営トップを務めていたとしても、それはこれまでの延長線上に過ぎないのです。従ってこれから先は、これまで私が行ってきたことをベースに置きながら、新しい時代の感覚、考え方を経営にどう織り込んでいくかが喫緊の課題となり、早急に後継者育成に努めていきたいと考えています。

〇〇〇

株主還元の状況および次期の業績見通し

〇〇〇

当社は、業績を勘案しながら、将来の事業展開や経営基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を重視し、安定した配当を継続していくことを経営の基本方針としています。当期の年度末配当金は、財務状況や当期の業績等を勘案し、前年度末よりも2円50銭増配となる1株当たり5円50銭とさせて頂きました。既に中間期末において3円00銭



の配当を実施していることから、年間配当は1株当たり8円50銭となります。

また当社では、2023年12月16日付の事業の一部譲受けで取得した店舗と新規出店や店舗リニューアル及びデジタル化による業務効率化の推進など、効果的な設備投資を実施することで業績の向上を見込んでいます。具体的に2024年度では、売上高53億3千万円(前期比5.1%増)、営業利益1億5千万円(同80.1%増)、経常利益2億5千万円(同52.8%増)、

当期純利益1億5千万円(同26.0%増)を計画しています。

〇〇〇

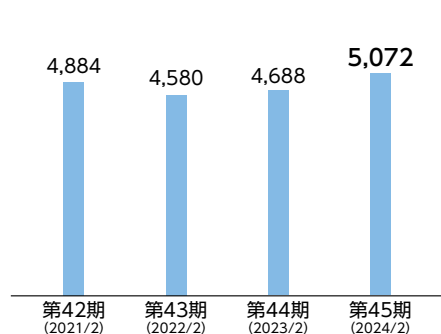
今後の経営ビジョン

〇〇〇

2024年度における国の一施策として総務省より、「活力ある多様な地域社会を実現し、世界をリー

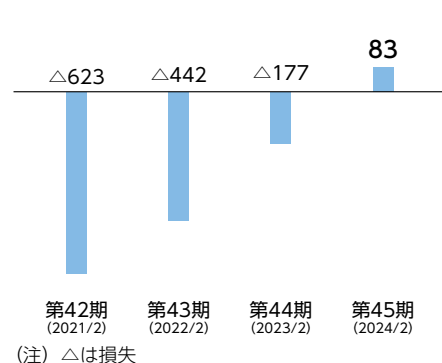
売上高

(百万円)



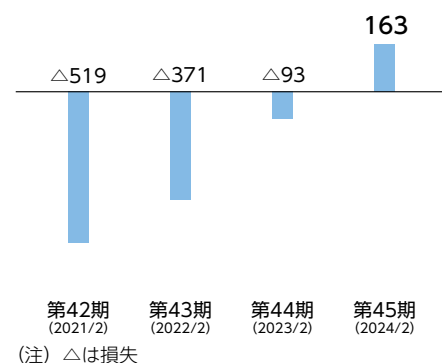
営業利益

(百万円)



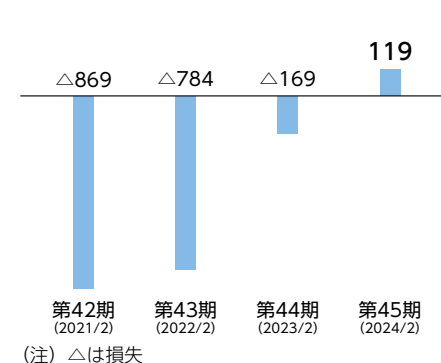
経常利益

(百万円)



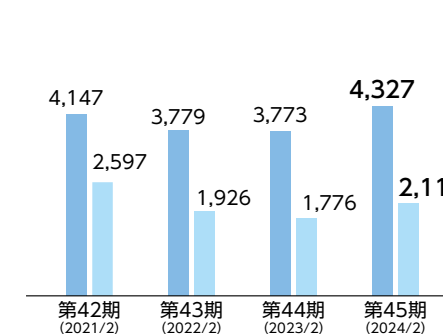
当期純利益

(百万円)



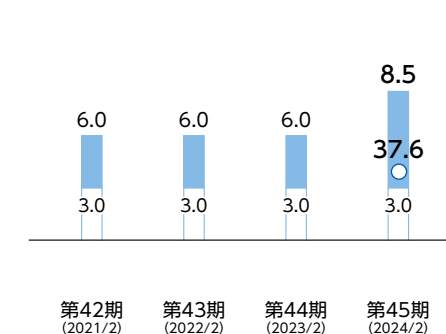
総資産／純資産

■ 総資産(百万円) ■ 純資産(百万円)



1株当たり配当金／配当性向

■ 1株当たり配当金(円) ○ 配当性向(%)



ドするくにづくり」が掲げられています。不遜ですが当社の2024年度の経営施策は、それより半歩進んでいる内容の経営方針になっているかと自負しています。

物価上昇が続き、賃上げラッシュが起こる中、当社も社員の皆さんの賃上げを実現しました。尚、当社では2024年2月1日にクリーニング料金を値上げさせて頂きましたが、その原資を元に今年も賃上げを検討していきたいと考えています。また、当期は色々な問

題がありましたが、様々な対策を講じてきた結果、昨年末からとても良い方向で成長の兆しがあちこちに見られるようになってきました。新型コロナウイルス感染症の発生から約5年の間に、苦労もありましたがその中から新しい時代に添い遂げられるような基礎ができてきたのではないかと、今後に向けての手応えを感じているところでもあります。これからのきょくとうの成長の姿にご期待いただくとともに、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Management policy

2024年度の経営方針

1 私たちは経営理念を共有し、ともに成長して企業価値の向上を目指します

- (1) 創業60周年にあたり、創業から現在までの様々な歴史を学び、歴史を通じて経営理念を理解し、全てのスタッフが経営理念を通じて会社との絆を深め、成長することにより企業価値の向上を目指します。
- (2) 既存エリアでのシェア率アップを目指し、お客様の利便性を追求した新たなサービスや新商品の開発を行うことで特別会員を増やし、また、M&Aや新規出店を積極的に計画し、時代の変化に流されない独自のサービスを提供することを目標とします。

2 「多様性」を経営の基本とし、女性がいいきと活躍する職場環境作りを推進します

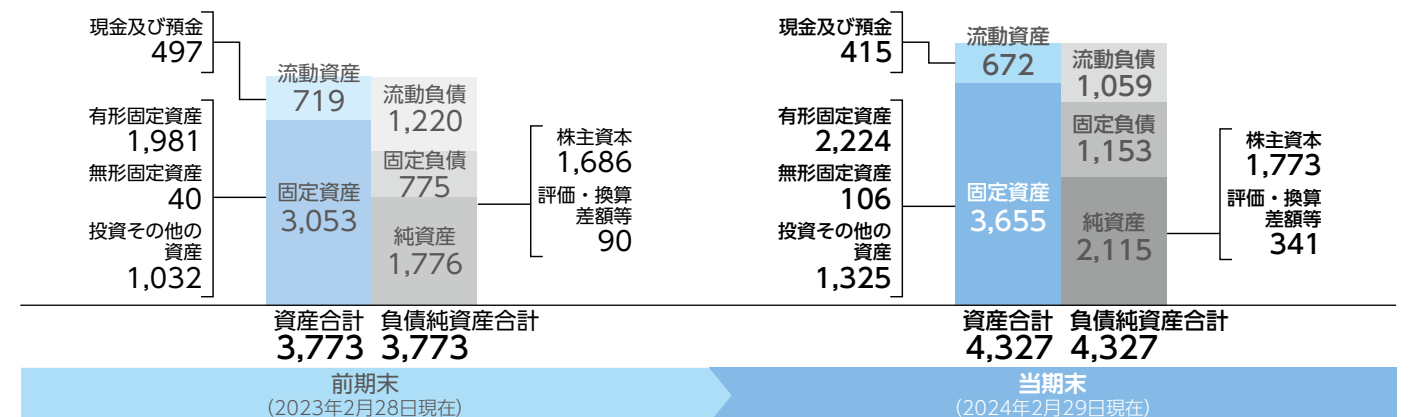
- (1) 経営トップのリーダーシップによる多様性を重視した経営を行い、性別や年齢、価値観の違いを認め、一人一人が能力を最大限発揮できる環境を作り、会社とスタッフが一緒に成長することを目標とします。
- (2) 女性が安心して働ける職場環境の整備を推進し、女性の管理職への登用など、女性の活躍を具体的に推進することを最重要目標とします。

3 お客様の満足度向上のために、「人」への投資を強化していきます

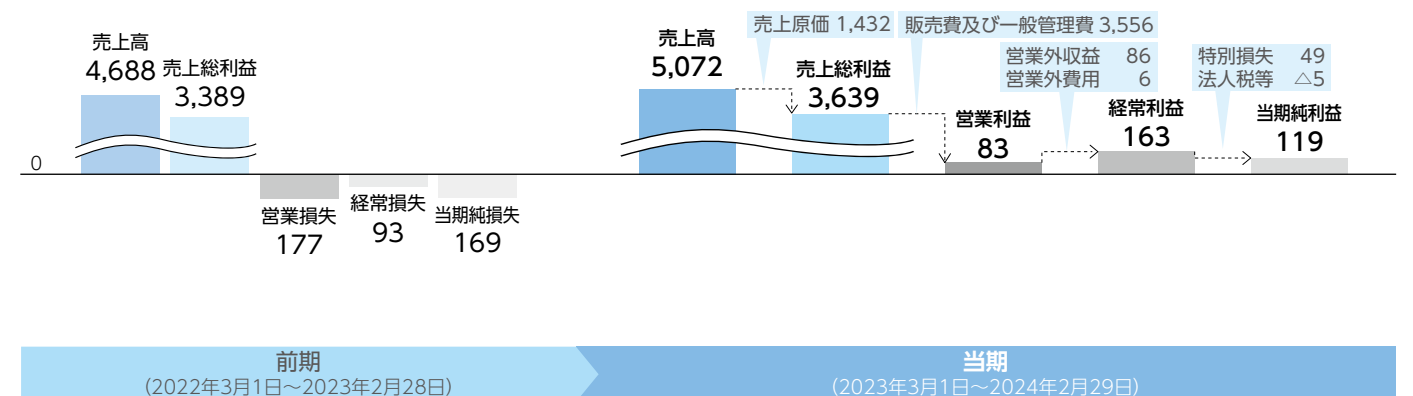
- (1) お客様の満足度の向上を目的として、会社にとって最も大切な「人」への投資を行います。
- (2) 人材育成と教育を重要な課題とし、人の成長がきょくとうの成長へとつながるような人材育成を行います。
- (3) 評価(報酬)制度や資格制度、表彰制度などの個人のモチベーションアップにつながるシステム再開発と再評価を行います。

財務ハイライト

貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



損益計算書の概要 (単位: 百万円)



会社情報

会社概要 (2024年2月29日現在)

設立 1964年(昭和39年)6月1日
資本金 5億5,509万円
取引銀行 株式会社西日本シティ銀行、株式会社十八親和銀行、株式会社佐賀銀行、三井住友信託銀行株式会社
事業内容 クリーニング業
従業員数 879名(パートタイマー含む)
営業所数 495店
工場数 41工場(内12プラント)
工場所在地 福岡、佐賀、山口、広島、島根、兵庫、大阪、神奈川、東京、埼玉

役員 (2024年5月28日現在)

代表取締役会長兼社長	取締役	取締役	取締役
牧平 年廣	山口 強志	重松 史郎	池田 早織
専務取締役 弓削 道哉	社外取締役	社外取締役	大久保壽人
常務取締役 井上 和美	常勤監査役	監査役	中嶋 久夫
取締役 斉藤 博	監査役	監査役	神尾 康生
取締役 丸林 凡和			
取締役 村上 忍			

ネットワーク





M&Aによる地場九州ネットワークの強化

2023年12月16日、福岡市を基盤に主に『パンジークリーニング』の屋号で、クリーニング取次店を展開してきた「株式会社かりん」と「株式会社ふなこし」から、M&Aで福岡市及びその近郊に48店舗の営業権を取得し、さらに2024年2月28日に福岡県那珂川市に新たに1つのクリーニング工場を新設しました。

これにより、当社は福岡市及びその近郊の工場・店舗のネットワークの再構築を行い、収益基盤の一層の強化と効率化に繋げてまいります。



取得した筑紫駅前店



今光工場（那珂川市）



環境への取り組み

当社は、持続可能な世界の実現に向け、「環境」を企業経営における重要なテーマとして位置づけ、資源の効率的利用、生物多様性の保全、地球環境への負荷低減に取り組み、積極的な環境活動を推進しています。

①ドライクリーニングの溶剤を回収して、再利用

工場で使用する機械設備で、ドライクリーニングの溶剤を回収できる「回収乾燥機」を使用して、回収した溶剤を再利用し、省資源化を図っています。

②ダウンジャンパーを水洗い

当社は、冬のアウトターとして人気のダウンジャンパーを、他の衣類と同様に「取扱い絵表示や、素材、生地加工状態、デザインや付属品等」を総合的に判断して洗い方を決めています。その多くは主に水洗い・温水洗いをし、石油系溶剤の使用料削減に取り組んでいます。

③健康・環境どちらにも優しいEMウォッシュNEO7

EM由来酵素配合で、界面活性剤0.5%、蛍光増白剤無添加、抗菌・防臭成分配合、無リン、無香料、生分解性99%以上の7つの特徴で、洗剤量は約40%節約でき、すすぎが簡単。節水・節電・時間短縮につながり、さらに健康と環境に優しいエコな洗剤をオリジナルブランドとして販売しています。

④ハンガーデポジット

お客様に品物を受け付ける際に、ハンガー代をお預かりし、次回ご来店時にお持ちいただければ、ハンガー代をお返しするハンガーデポジット制を導入しております。回収したハンガーは、洗浄・殺菌してリユースしています。環境への意識をいち早く取入れ、1999年に始まったこの制度は、現在も引き続き取り組んでいます。

⑤包装ビニール（衣類用カバー）の削減

衣類をお返しする際に、衣類用のカバーに使用する包装ビニールについて、2021年11月に1ミクロン単位で厚みを薄くしました。また、2022年8月には、更に1ミクロン薄くし、原材料の削減と環境への配慮を目的として取り組んでいます。

⑥LEDの導入

省エネやCO₂削減の取り組みとして、2024年2月より当社のクリーニング工場のうち10工場を中心に、300台以上のLED照明への切り替えを実施しています。今後、全ての工場の照明をLEDに切り替える計画を予定しており、省電力のLED照明を使用し、CO₂削減による地球温暖化防止に貢献する取り組みを進めていきます。



第45期期末配当で2円50銭の増配を決議

コロナ禍の業績低迷からの順調な回復に鑑み、2024年2月16日の取締役会において、第45期期末配当を1株当たり2円50銭増額することを決議しました。効力発生日は、2024年5月14日です。

今年、創業60周年を迎えることとなり、当社は第46期においても、株主の皆様のご期待に応えられるよう、企業価値の向上に努めてまいります。



24時間自動受渡しロボットシステムの導入

2024年3月に24時間いつでもクリーニングの受付・引取が可能な24時間自動受渡しロボットシステムを、福岡市の高宮店に導入しました。これまでも24時間対応可能な無人機については、当社ですでに3店舗で無人受渡し機（受付・引取とも対応）、32店舗で無人お渡し機（引取に対応）を導入し、お客様の24時間のご利用ニーズに対応して参りましたが、今回導入の24時間自動受渡しロボットシステムでは、受付・引取の件数・枚数の大幅な増加にも対応が可能となり、また慢性的な人員不足問題の解決にもつながると考え、新たな発展する事業として今後の展開を検討してまいります。



高宮店



24時間自動受渡しロボットシステム



きょうとうオリジナルのオプションサービスの推進強化

コロナ禍で内向きとなった戦略を再び成長戦略へと切り替え、積極的な販促活動を行いました。お客様へより品質の高いサービスを提供できるよう、当社独自のオゾン&アクアノドライや撥水加工などのオプションサービスの推進強化のため、営業所勉強会を継続して実施しました。この取り組みによって、オプションサービスの売上実績は大きく前年を上回り、きょうとう独自の洗いの技術をよりたくさんのお客様に知っていただくことができました。



事業継続計画（BCP）の基本方針の策定

当社は、大規模地震や水害等の自然災害、あるいは感染症の蔓延その他甚大な被害をもたらす危機の発生に備え、生命・身体の安全確保を最優先とし、二次災害の防止と資産の保全を図るとともに、社会的責任として事業の継続による社会への貢献に努めるため、2023年11月17日の取締役会において、「事業継続基本方針」を決議し、同日制定しました。この実現に向けて、事業継続への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、「融和」「変革」「貢献」の経営理念の下、その運用管理を積極的に実施いたします。

60年の歴史を踏まえながら、“Re-born”を意識して諸企画に取り組んでまいりました。業活動の活性化に積極的に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。

には、今後とも相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

きょくとう 60 年



1968 年社員旅行記念写真



1977年 さわかグループ仕上げ協議会その後も連綿と続いている



1994 年金の隈に本社落成現在に至る



2000年「オゾン＆アクア / ドライ」発売開始



1981 年 海援隊コンサート



1998 年 ドライブスルー店舗開設（上峰）



1999年 100円クリーニングスタート



1980年代から店舗の移り変わり



2014 年 広島土砂災害時被災者への無料クリーニング実施



2017 年 九州北部豪雨被害時に無料クリーニングを実施



2014 年 創業 50 周年



2015 年 ラッピングバス運行
(福岡、広島)



2015 年 24 時間受付
オーバータイムロッカー導入



2017 年 松本社長就任



2019 年 牧平直社長就任



2019 年 新デザインの店舗



2023 年 今光工場開設
(旧パンジー那珂川工場)



次の
ステップへ



宇美時代

金の隈時代

創業六十周年を迎える

創業六十周年を迎える

株式の状況 (2024年2月29日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,261,141株 (自己株式290,089株を除く)
株主数	11,694名 (前事業年度末比216名減)

大株主 (2024年2月29日現在)

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
牧 平 年 廣	1,591	30.25
きょくとう社員持株会	262	4.98
株式会社西日本シティ銀行	250	4.75
株式会社十八親和銀行	220	4.18
株式会社佐賀銀行	140	2.66
牧 平 京 子	132	2.51
ロイヤルネットワーク株式会社	100	1.90
富 沢 広 之	89	1.71
永 田 光 春	77	1.47
株式会社ツー・エム化成	71	1.35

注1. 持株比率は、自己株式（290,089株）を控除して計算しております。
 2. 持株数は千株未満を切捨て表示し、持株比率は表示未満の端数を四捨五入しております。

株式の所有者別状況

	第43期 (2022/2)		第44期 (2023/2)		第45期 (2024/2)	
	千株	名	千株	名	千株	名
金融機関	762	7	763	8	713	7
証券会社	2	9	1	8	12	17
その他法人	379	71	380	74	379	73
外国法人等	4	23	7	26	23	32
個人その他	4,112	11,675	4,108	11,793	4,132	11,564

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末まで
定時株主総会 5月下旬
配当の基準日 期末配当 2月末日
 中間配当 8月31日

1単元の株式の数 100株
公告方法 電子公告によりホームページに掲載いたします。
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
 および全国各支店で行っております。

郵便物送付先

(電話照会先)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

きょくとうホームページのご案内



トップページ

■ サービス紹介
 ■ 店舗一覧
 ■ 会社概要

■ IR情報
 (計算書類：有価証券報告書、
 会社説明会資料など)

<https://k-cleaning.jp/>

きょくとう

検索

株主優待制度のご案内

1,000円～5,000円相当の「クリーニング無料券(金券)」または、「JCBギフトカード」を進呈いたします。

優待の内容

株数	金額	(A) コース	(B) コース
100株以上～500株未満	1,000円相当	クリーニング 無料券	JCBギフトカード
500株以上～1,000株未満	2,000円相当	クリーニング 無料券	JCBギフトカード
1,000株以上～5,000株未満	3,000円相当	クリーニング 無料券	JCBギフトカード
5,000株以上	5,000円相当	クリーニング 無料券	JCBギフトカード

※(A)・(B)コースは株主様のご希望を返信ハガキでご回答をいただき、実施いたします。

贈呈対象株主様

毎年2月末日現在の最終の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

贈呈の時期

毎年6月下旬の
 送付を予定いた
 しております。



JCBギフトカード

